



おらうほの物語四巻何人乃はくわたりたはるま
志しきある人のしるまき屋貞信とれきん達
実頼師猶乃はるまかられいよあつたをすよわ
まおひきもちなりのほりあふる事をはげはる
れこの素いものおらまははくの位すはるまは
ふもてつけくかまらるなるまきりとなんおひさる
みにもあつたそのあつたおのこをもち
おれかんふるまもらるまかろあは人ひ



どちれうんを獲りたるがししげなよめのふいり
ちやさんとするほふふあしはにむをさし
み母ある人乃國のかしよき母しよき人しあ
まししていひあくるなれきし乃世のいやたの
いふいとちこはしよきあしよきしよきれな
うし屋しれもはしよき人のあしよきしよき
あるものいししよきしよきしよきしよきしよき
しよきしよきしよきしよきしよきしよきしよき

こりたるうかかていしれいしよきしよきしよき
のいしよきしよきしよきしよきしよきしよき
なりしよきしよきしよきしよきしよきしよき
しよきしよきしよきしよきしよきしよきしよき
乃しよきしよきしよきしよきしよきしよきしよき
あしよきしよきしよきしよきしよきしよきしよき
しよきしよきしよきしよきしよきしよきしよき
母のしよきしよきしよきしよきしよきしよきしよき

新
おま—きあて人と—我りか海このりあは
さるいづれうたけにさあつてはみよものせし—
—まはうちかえセ夕めれまにたあひの姫の
いろ—さ浅もとらま—て世のほる世にら勢
終ふちんいとまか—このりある人のお相ほな案
ちり持のちうめちびをもお—はの理系—
まふのれほ—けつまあま吉福天女改む—
とらまたりとやお男君をわ—ら—まおて

はま終ふなるへまけお男君も君よりほ—
ハ秋の野—花—にぬら—てけぬ
をれとちり終ふよ—み—志終へに—
まて女君のいみ—うか—らぬまをさ
終ふちんおの—け—か—れぬをなん河洲の
る乃ほひ—さ—か—らぬ君のぬま—ひるりたる
よ—まてよ—く—ん—え—いた—の—ま—ぬ—あ—ら—ま—
の—ち—て—い—ま—は—民—ま—れ—も—の—お—ち—の—あ—や—

多岐入の風はたゞはゆるりなるほかにいりたりせましと
あふらばししうけしうけしうけしうけしうけしうけし
やは知年知人のまゝいあゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
とをば揚はらるゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
しよゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
やせゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ものづゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ちゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

たゞしうけしあり

特とくにむていりあつしうけしうけしうけしうけしうけし
なんはあがりなきうけしうけしうけしうけし

はもあがりしうけしうけしうけしうけしうけし
あがりなきうけしうけしうけしうけしうけし
あがりもなきし又

天河雲をうけしうけしうけしうけしうけしうけし
りしにあらはれしうけしうけしうけしうけしうけし
みづう物しうけしうけしうけしうけしうけしうけし
けしうけしうけしうけしうけしうけしうけしうけし

何ふのちゆのんいふれべもななんちとありて
とびをせありおのしやひし孫かれらをもておはせ
ハ字御ありとひいふは女侍をたぬのうにういみくもくさ
むらふべけれ美おをしかかすもてえしやひてん
といふ海なりけりおめちいふ歸は文をかおのまう見
きもきばられや悟成が書おはまうこうさくられ
ありこころあけきいそちをうれよのまよ孫一
やれたるし孫をらんとせは孫かのいひらんやうも
らんをりきうんもあともいまくばさもはりぬべ
をりこころははめれとやお笑ひ孫あてけううた

けしてき後る色紙くこゆびまうらきぬめい
をかしてまひてあしはれバのあま

はれなまをういふく人まをいふんか
あひがはなれをうれささくまうまうとて親
をういふまをうらん果子一餌侍とて書し
いはして今とりにまらんまおとてはめあはれ
はつこりかとりまはははははははははははは
ごうまうあらまとりまうりてめまうつれ
をりて見しまへバ孫やまうまのまうんばだち
が許ふまのういふまをいふんけらるまあり

かきかきいらいのまきけいもんとまきけいのまきけい
とつりあつたまきけいといつりあつたまきけい
思ふまじかきけいといつりあつたまきけい
くもつりあつたまきけいといつりあつたまきけい
つりあつたまきけいといつりあつたまきけい

かきかきいらいのまきけいもんとまきけいのまきけい
とつりあつたまきけいといつりあつたまきけい
思ふまじかきけいといつりあつたまきけい
くもつりあつたまきけいといつりあつたまきけい
つりあつたまきけいといつりあつたまきけい

のまきけいもんとまきけいのまきけい
とつりあつたまきけいといつりあつたまきけい
思ふまじかきけいといつりあつたまきけい
くもつりあつたまきけいといつりあつたまきけい
つりあつたまきけいといつりあつたまきけい

Main body of handwritten text on the right page, written in vertical columns from right to left.

Main body of handwritten text on the left page, written in vertical columns from right to left.

三三
あつちのこゝろに
なんぢのこゝろに
あつちのこゝろに
なんぢのこゝろに
あつちのこゝろに
なんぢのこゝろに
あつちのこゝろに
なんぢのこゝろに
あつちのこゝろに
なんぢのこゝろに

○KXL
4m.1
2020

